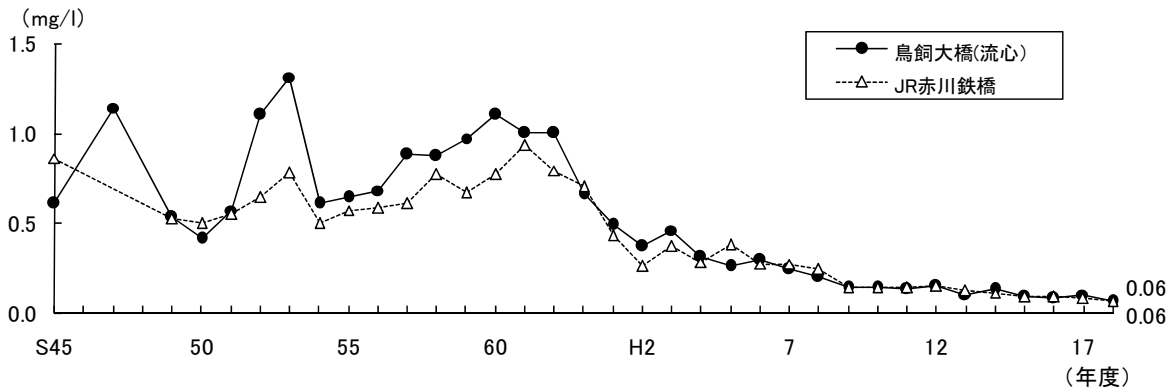


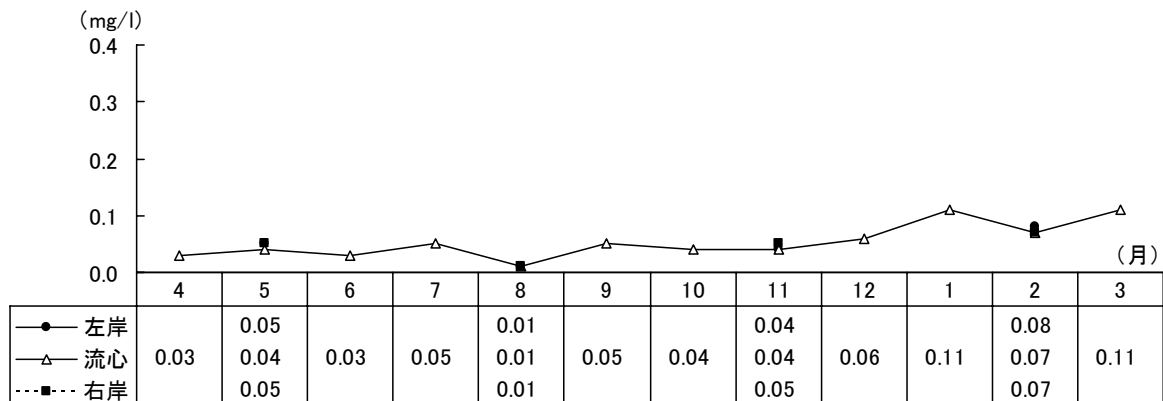
【図3-40 淀川下流のBOD（75%値）の推移】

「大阪府公共用水域等水質調査結果（ホームページ）」より作成  
 詳細は資料3-10を参照



【図3-41 淀川下流のアンモニア性窒素（年平均値）の推移】

大阪府環境白書より作成  
 ただし、平成11年～18年度は「大阪府公共用水域等水質調査結果（ホームページ）」より作成  
 詳細は資料3-11を参照



【図3-42 淀川下流（鳥飼大橋）のアンモニア性窒素（平均値）の経月変化（平成18年度）】

大阪府環境農林水産総合研究所「大阪府公共用水域等水質調査結果（ホームページ）」より作成

### (3) 大阪市内河川

大阪市内河川のBOD（75%値）は昭和40年代中頃まで非常に高い値を示していたが、その後は改善傾向を示している。平成18年度は、神崎橋で2.0mg/l（環境基準値3.0mg/l）であり、環境基準値を満たしている。一方、京橋は8.3mg/l（環境基準値8.0mg/l）、天神橋（堂島川）は3.1mg/l（環境基準値3.0mg/l）、天神橋（土佐堀川）は5.6mg/l（環境基準値5.0mg/l）であり、環境基準値を上回っている。



【大阪市内河川（大阪城付近）】